(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 6 日

福島市長 殿

提出者 福島市町庭坂字杉ノ下10-19

住 所 阿部建材工業株式会社

氏 名 代表取締役 阿部 茂之

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 024-591-1744

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	阿部建材工業株式会社
事業場の所在地	福島市町庭坂字杉ノ下10-19
計画期間	令和 6年 4月 1日 ~ 令和 7年 3月 31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

(1)	事	業	の	種	類	06 総合工事業
2	事	業	の	規	模	元請完成工事高 : 258,049 千円
3	従	業		員	数	51名

④ 産 業 廃 棄 物 の 一連の処理の工程 別紙の通り

産第	美廃棄物の処理に係る	管理体制に	に関する事項				
	(管理体制図)						
	別紙の通り						
産第	・ 美廃棄物の排出の抑制 	川に関する事	耳				
		【前年度(令和5 年度	(美) 実績】			
		産業廃	棄物の種類	別紙の通り			
		排	出量	別紙の通り	t		t
	①現状	(これまで)	こ実施した取組)			
			こより廃棄物の 経減に努めてい		分別解	昇体の徹底を図るなど	
		【目標】					
		産業廃	棄物の種類	別紙の通り			
		排	出量	別紙の通り	t		t
	②計画	(今後実施	する予定の取締	且)			
		再利用•適	正処理の目的な	を達成するために廃	棄物0	曽減するが、減量化・)発生量を実測により 量の軽減に努める。	
産第	・ 美廃棄物の分別に関す	る事項					
		(分別してし	いる産業廃棄物	の種類及び分別に	関する	取組)	
	①現状	分別解体に 分類し搬出		こてフレコンパックを	使用し	、種類ごと小分け	に
		(今後分別	する予定の産業	美廃棄物の種類及び	(分別に	に関する取組)	
	②計画	 引き続き現	見状維持に努め	る 。			

自ら	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項						
		【前年度(令和5 年度)実績】					
		産業廃棄物の種類 別紙の通り					
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量 別紙の通り t t					
	①現状	(これまでに実施した取組)					
		自社中間処理施設にて破砕をし、廃棄物の再資源化推進のため、選別 た資源の有効利用と廃棄物の減量及びリサイクルを図っている。					
		【目標】					
		産業廃棄物の種類 別紙の通り					
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量 別紙の通り t t					
	②計画	(今後実施する予定の取組)					
		破砕処理した再生骨材は、建設現場にて路盤材などに使用し再生利用化 を図る。					
自ら	 行う産業廃棄物の中	ー 間処理に関する事項					
		【前年度(令和5 年度)実績】					
		産業廃棄物の種類 別紙の通り					
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 t					
	①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量別紙の通り t					
		(これまでに実施した取組)					
		自社中間処理施設にて、再生利用困難な廃棄物を処理し、減量化を図ってしる。					
		【目標】					
		産業廃棄物の種類 別紙の通り					
	②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 t					
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量別紙の通り t					
		(今後実施する予定の取組)					
		引き続き現状維持に努める。					

自ら行う産業廃棄物の	の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	
	【前年度(令和5 年度)実績】	
	産業廃棄物の種類別紙の通り	
0.71	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量 11 別紙の通り t	t
①現状	(これまでに実施した取組) 選別減量化を図り、リサイクル困難な廃棄物を処理している。	
	【目標】	
	産業廃棄物の種類 別紙の通り	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 別紙の通り t 産業廃棄物の量	t
②計画	(今後実施する予定の取組)	
	引き続き現状維持に努める。	
 産業廃棄物の処理の		
/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	【前年度(令和5 年度)実績】	
	産業廃棄物の種類別紙の通り	
	全処理委託量 別紙の通り t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量 t	t
	再生利用業者への 処理 委託量 t	t
①現状	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への	t
	(これまでに実施した取組)	
	中間処理後の燃え殻・ばいじん及び中間処理破砕後の廃石膏ボードの 膏は管理型最終処理場へ委託処理している。	石

(第5面)

	【目標】	- /			
	産業廃棄物の種類	別紙の通り			
	全処理委託量	別紙の通り t	t		
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t		
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t		
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t		
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理 委託 量	t	t		
	(今後実施する予定の取組))			
	引き続き現状維持に努める	o			
※事務処理欄					

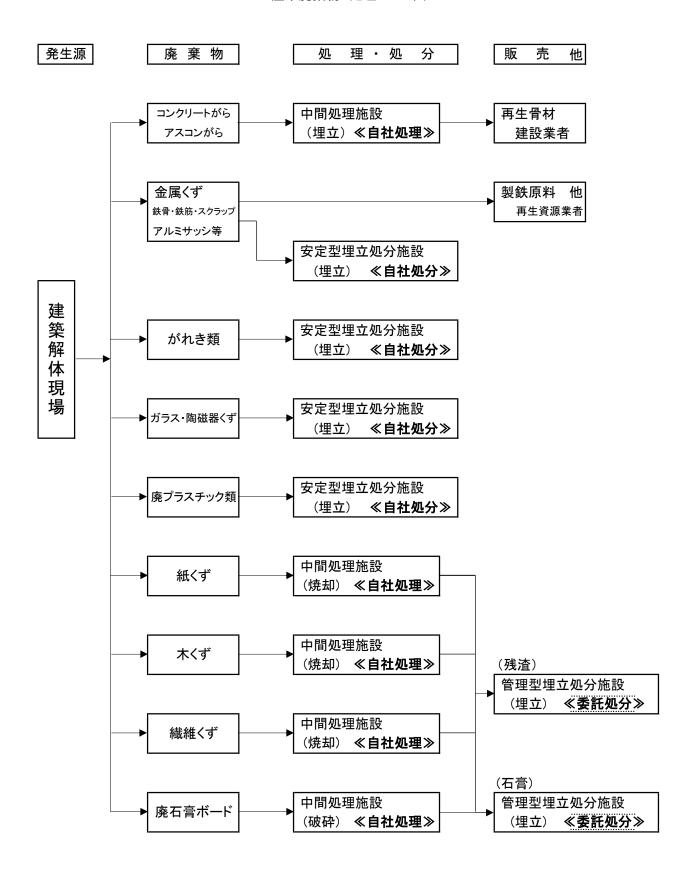
備考

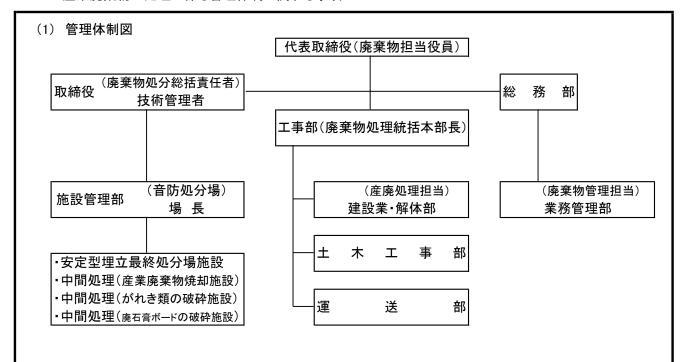
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【別紙】

	·吞 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	産業廃棄物の種類 ※量の単位はt(トン)										Λ =1 (·)			
	項目		がれき類	ガラスくず・コンク リートくず及び陶磁 器くず	金属くず	廃プラスチック類	コンクリートくず		木くず	紙くず	繊維くず	廃石膏ボード	燃えがら	ばいじん	合計(t)
産業廃棄物の排出の	排出量	現状	490.85	27.09	3.21	45.85	5,826.05	40.03	717.51	8.39	10.71	68.53			7,238.22
抑制に関する事項	加里	計画	400.00	30.00	10.00	30.00	10,000.00	500.00	300.00	5.00	5.00	70.00			11,350.00
自ら行う産業廃棄物の	再生利用に関する	現状					5,826.05	40.03							5,866.08
事項		計画					10,000.00	500.00							10,500.00
	自ら熱回収を行った	現状													0
自ら行う産業廃棄物 の中間処理に関する	産業廃棄物の量	計画													0
事項	自ら中間処理により 減量した産業廃棄	現状							717.51	8.39	10.71	68.53			805.14
	物の量	計画							300.00	5.00	5.00	70.00			380.00
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋		現状	490.85	27.09	3.21	45.85									567.00
投入処分に関する事項		計画	400.00	30.00	10.00	30.00									470.00
	全処理委託量	現状										68.53	35.36	18.42	122.31
		計画										70.00	20.00	10.00	100.00
	優良認定処理業者 への処理委託量	現状													0
		計画													0
	再生利用業者への	現状													0
委託に関する事項	処理委託量	計画													0
	認定熱回収業者へ	現状													0
	の処理委託量	計画													0
	定熱回収業者以外の熱回収を行う業	現状													0
		計画													0

産業廃棄物 処理フロー図





(2) 職務分担

役 割	職務内容
廃棄物処分 総括責任者	・廃棄物処分方針の策定・処分場内の廃棄物管理規定の策定、改廃・廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
廃棄物処理 統括本部長	・産業廃棄物の再生利用、中間処理、適正処理の推進、計画的な管理運営の検討・産業廃棄物処理計画の作成・処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理
音防処分場 場 長	・産業廃棄物処理施設の運転、維持管理・産業廃棄物処理管理票の作成、集計・産業廃棄物処理の適正処分、減量化及再生品目製造
産業廃棄物 処理担当	・産業廃棄物の適正処理、再生利用の推進 ・分別解体による産業廃棄物の発生抑制と減量化の推進
廃棄物 管理担当	 ・委託契約書の締結 ・産業廃棄物管理票の交付及管理 ・監督官庁への各種報告 ・社員教育、啓発 ・搬入事業者、収集運搬業者への対応 ・その他関係する事項